

風

Sugiyama Jogakuen University

帽山女学園
大学報
Vol.52
March 2020

特 集

学生控室を活用しよう



学生控室を活用しよう
国際コミュニケーション学部
学生控室がリニューアル



Communi
-cation

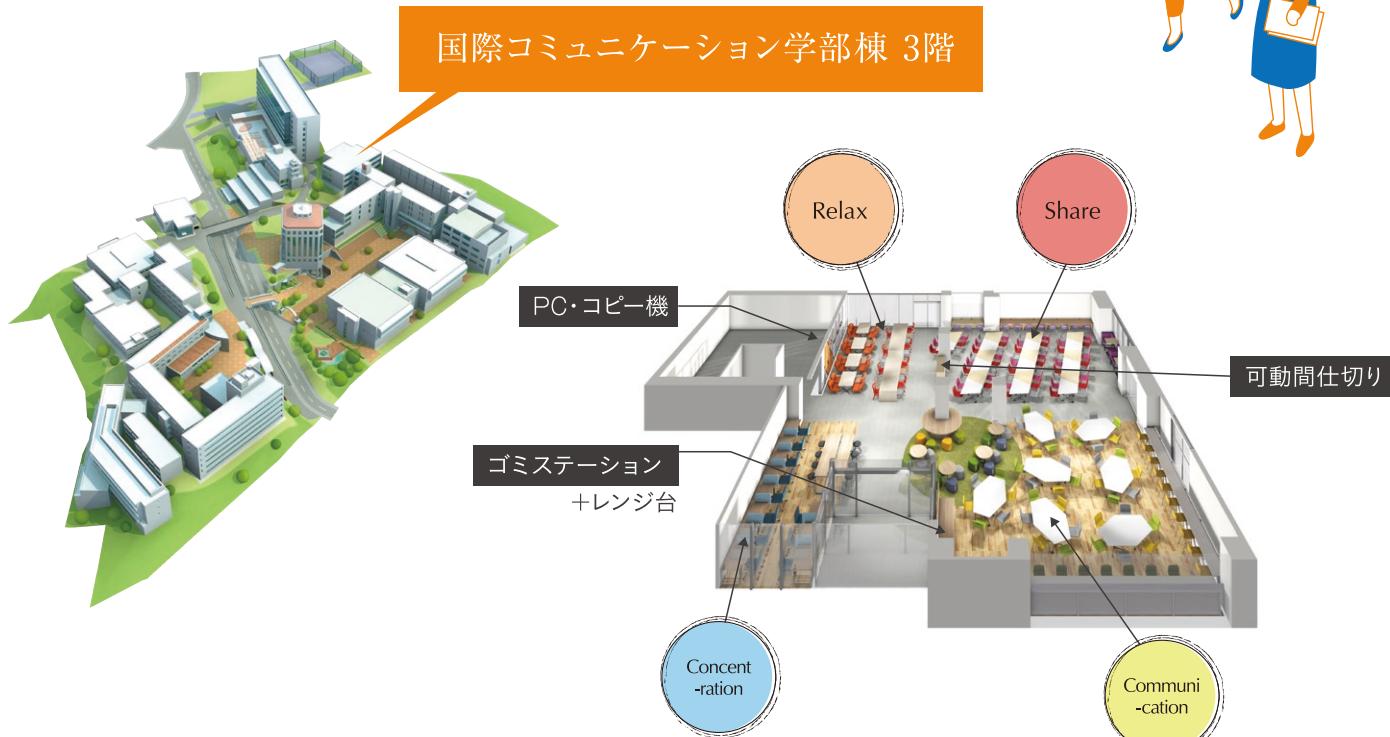
可動式のテーブルやスツール
(背もたれのない椅子)を
自由に組み合わせて使えるスペース。
グループワークにも最適です。

2019年9月、国際コミュニケーション学部の学生控室がリニューアルしました。

今回は、学生の意見を取り入れた新しい控室の活用法と、各学部の学生控室をご紹介。

学生控室は、所属する学部学科に関係なく、どこでも自由に利用することができます。

あなただけのとっておきの場所を見つけてみては？



グループで使える大きなサイズのテーブルと、ゆったりくつろげるソファ席を配置。空き時間やランチタイムなど、和やかな雰囲気で過ごせます。



可動式テーブルで自在に変化するスペースは、会議からイベントまで幅広い用途に利用できます。ライトは調光できるので、プロジェクターも使用可能。



思考力を高めるとされる青を基調とした空間。間仕切り付きの一人用デスク、大テーブルにはコンセントも完備しています。集中して勉強したい時に。



学生の要望を取り入れ、丸鏡やバックライトなど、おしゃれに生まれ変わりました。



豆からドリップした挽き立ての1杯が楽しめます。

学生控室を巡ってみよう

学部ごとに、それぞれの特色が楽しめる学生控室。
お気に入りの場所や居心地のよい空間がきっと見つかるはず。
要望がある人は、設置してある意見箱にぜひ投書してください。

星が丘キャンパス



日進キャンパス



設備アイコン



PC



コンセント



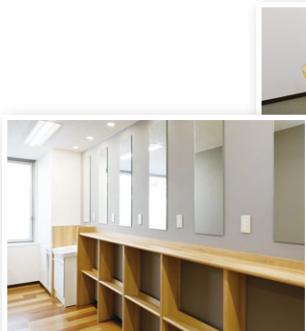
コピー機



自動販売機

① 学園センター1階

スクールバス乗り場に近く、待合室としても利用される場所。予約不要で自由に使える個室やパウダースペースがあります。



パウダースペース



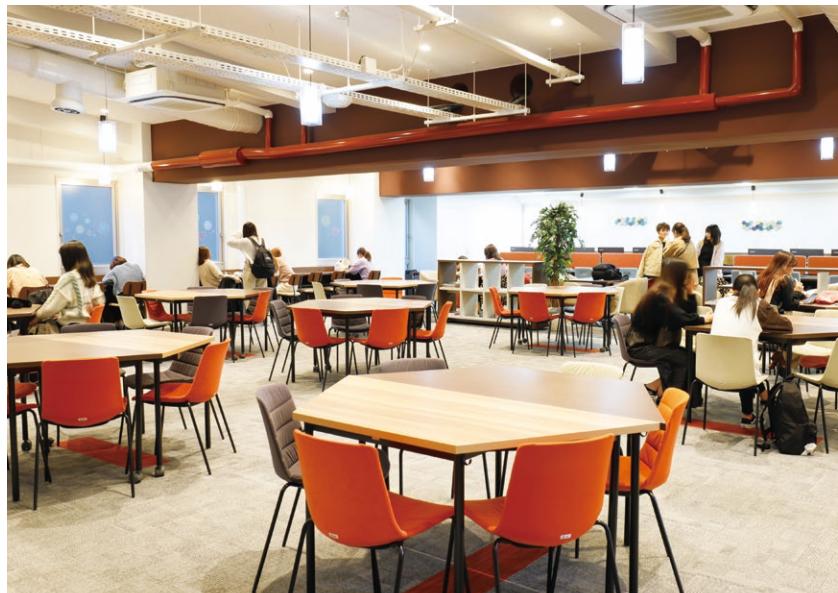
② 生活科学部棟1階

自然光がたっぷり入る屋内席と、開放的な屋外のテラス席。併設カフェのスイーツも楽しめます。



テラス席





③ 現代マネジメント学部棟1階

学生ピアサポートチーム TEAM RENATAが改修事業に参加し、インテリアやレイアウトに学生の意見が反映された控室。産学連携事業などのイベントにも活用されています。



学生の声を取り入れ、椅子のデザインやインテリアの色調など「居心地の良さ」が追求されています。改修後、意見箱の要望などをもとに雑誌や空気清浄機が設置されました。

④ 人間関係学部5号棟1階ロビー

2019年夏にリニューアルし、間仕切りなどが取り去られ、抜け感のある広々としたスペースに。照明はLEDに変更され、明るく開放的な雰囲気になりました。



⑤ 文化情報学部メディア棟4階

主要新聞5紙をはじめ、さまざまなジャンルの雑誌、書籍が揃い、幅広い分野の最新の情報を入手できます。企画やアイデアを出したい時にも役立ちます。



⑥ 看護学部棟3階

学生控室のすぐ隣には自習室(看護学部生専用)があり、勉学に重きを置いた落ち着いた空間。勉強や考え事をしたい時におすすめです。



⑦ 教育学部棟1階

温かみのあるウッド調の床に真っ白な壁と、清潔感いっぱい。自販機では飲み物やお菓子などが購入できるほか、掲示板ではサークルなどの耳より情報を入手できます。





教員研究紹介

子ども発達学科

朴 信永 準教授

Profile

韓国の大公立小学校に就職後、鳴門教育大学大学院入学とともに退職。同大学院で修士号(教育学)、広島大学大学院で博士号(心理学)を取得。その後、宇都フロンティア大学短期大学部の専任講師を経て、2011年4月から本学教育学部子ども発達学科に着任。2016年4月から現職。専門分野は、発達心理学、子育て支援、保育者支援。

子育て支援の必要性を感じて

韓国仁川市の教育大学を卒業後、4年生の担任として初めて小学校に赴任しました。1日が終わり、子どもたちが帰宅すると、毎日のように親御さんが相談にやってきました。新任教員にもかかわらず、真剣にお話いただくその姿から、我が子への深い愛情と子育てに対する心配や不安な気持ちが伝わり、少しでもお役に立ちたいと思うようになりました。一方で、子育て支援に関する勉強不足を感じていたところ、大学時代に交換留学生としてお世話になった日本の大学の指導教官に大学院進学を勧められ、もう一度学ぶことを決めました。元々、小学校教育教員養成に关心を持っていましたが、大学院では、幼稚園教諭・保育士養成へ専門分野をシフトさせ、以来、子どもやその家族の支援を含む保育者養成に従事してきました。

学生へのメッセージ

アメリカの教育心理学者 アンジェラ・ダックワース氏は、成功した人たちの共通点としてGrit(やり抜く力、粘り強さ)を挙げています。2019年ノーベル化学賞を受賞した吉野彰氏も柔軟性とあきらめない執着心が大事と語りました。今、興味を持っていることに全力投球する、迷ったときはあえて少し難しそうな道へ進んでみる。小さな挑戦の積み重ねが、大きな夢の実現への下地になるでしょう。

各家庭に貢献する研究成果を

今まで「親と保育者の省察」をメインテーマに、保育所や幼稚園の保護者と保育者に実践プログラムを提供し、その効果を調べてきました。例えば、「今までの子どもとの関わりを振り返ってみましょう」、「今後どのように子どもを育てていきたいですか」などを考えていただくもので、親御さんを対象にした研究の結果として、養育態度の改善や育児ストレスの軽減といった効果が確認されました。このような子育て支援や保育者支援に関する研究成果が注目され、幼稚園・保育所の園内研修会や、現職教員を対象とした研修会などに講師として参加することもあります。

私自身にとって、保育という分野の魅力は、研究の成果を保育実践や各家庭の子育てに直接的に寄与し得るところです。今後も子育て家庭および保育の現場に役立つ知見を発表ていきたいです。

保護観察官を目指して

元々、人が犯罪をする心理について素朴な疑問や関心がありました。大学の授業「非行問題」で、非行少年を支援する保護司(法務省から委嘱を受けた更生保護ボランティア)のドキュメンタリーフィルムを観たのがきっかけで、保護観察官という職種に興味を持ちました。その後、法務省の就職説明会で、保護観察官の方と直接お話をできる機会があり、「加害者と関わる職種はいろいろあるけれど、刑期を終えて社会復帰というスタートラインに携わることができるのは保護観察官の醍醐味」という言葉が印象に残り、私もこの仕事をしたいと強く思いました。

大学2年生の3月から2校の予備校へ通い、国家公務員試験の勉強を始めました。教養、専門、記述試験に面接対策と、膨大な試験範囲に苦戦しましたが、保護観察官になるんだ!と周囲にも宣言し、ストイックに勉強に打ち込みました。

人を信じ抜くことができる たくましい女性に

大学の授業では、ジェンダーやひきこもり、不登校など、社会的に生きづらさを抱えている人たちについて学び、多様な視点で物事を捉えることができるようになりました。その他にも、家庭裁判所調査官のインターンシップや、法務教官、矯正心理専門職、愛知県庁心理職の説明会などに参加し、さまざまな視点から非行少年や犯罪について考えるようになりました。

保護観察官として働くまでの一定期間は、法務事務官として、更生保護行政を幅広く理解するための仕事を経験します。将来は、犯罪をしてしまった人に対して、世間の目は厳しくても、その人を最後まで信じ抜き、支援する保護観察官になりたいです。また、困っている時や助けを求めている時に、声を上げることができない人たちに対して、誰よりも早く気付き、支援することができるたくましい女性になりたいです。

(取材:新聞報道部 河上 舞咲)



クローズアップ相談員

心理学科 4年

瀧谷 星香さん



Club Introduction | よさこい鳴子踊りチーム

さまざまな場面で演舞を披露

年齢や性別などを問わず、誰でも楽しむことができるよさこい。よさこい鳴子踊りチームは、毎週火、金、土曜日の週3回、名古屋市内のスポーツセンターなどで練習に励んでいます。県内で行われる祭りをはじめ、警察署の防犯キャンペーンなど地域や企業からの依頼を受けイベントに参加するほか、老人ホーム訪問などのボランティア活動にも力を入れています。

部員のほとんどは初心者で、アットホームな雰囲気の中、先輩が後輩にダンスの基礎から指導します。楽曲や衣装を一新し体制を整えてきた中で、2020年度には、約13万人が来場する「にっしん夢まつり」へ挑戦することが目標です。

よさこいの魅力を伝える

2019年度には、楣山女学園大学附属小学校の3、4年生を対象に、運動会で披露するよさこい踊りの指導ボランティアを行いました。約1ヶ月間10回の体育の授業を担当し、振り付けや鳴子の鳴らし方の指導をはじめ、観客の前で踊る心得として、自信を持って笑顔で踊る大切さを伝えました。指導法を模索する日々は大変でしたが、子どもたちに「楽しかった！また来年も」と言ってもらえて、部員たち自身も大きく成長することができました。部長の菱田有紀さんは、「一緒に踊るメンバーや観客のみなさんと味わう一体感がよさこいの魅力です」と語ります。あなたもよさこいに打ち込んでみませんか。

(取材:新聞報道部 弓削 真珠)



よさこい鳴子踊りチームTwitter
@sugiyama4351

NEWS

学内の主なニュースをピックアップしてご紹介します。

その他のニュースは
こちらから



第58回 梶大祭を開催

10 月19日(土)、20日(日)、星が丘キャンパスにおいて、第58回梶大祭を開催しました。今年のテーマは、「WA!!!」。平和の和、人の輪、感動のわあ!などの意味を持つ「WA!!!」を通して、たくさんの出会い、感動、驚きにあふれた梶大祭になるようにという想いが込められています。

サークルやゼミが出店した模擬店をはじめ、音楽やお笑いライブが行われたステージ企画や企業とのコラボ企画など、来場者が楽しめるユニークな内容で会場は終日盛り上がりを見せました。

1日目には、卒業生が母校に集う「第15回 梶山ホームカミングデイ」を同時開催。卒業生による講演会と学部交流会(梶山ティーパーティ)が行われ、学部学科、世代の枠を超えて親睦を深める機会となりました。また、2日目には恒例のミスコンテストが行われ、大学祭に花を添えました。



梶山女学園大学開学70周年記念 第41回梶山フォーラムを開催

11 月30日(土)に梶山人間学研究センター主催の梶山女学園大学開学70周年記念 第41回梶山フォーラム「人間にとってスポーツとはなにか」を開催し、111名の方にご参加いただきました。

第1部では、大阪学院大学国際学部教授の松本芳明氏が「超高度化するトップスポーツの世界」と題し、トップスポーツ界の現状について、オリンピックが進展してきたさまざまな要因と背景を説明しました。

第2部では、奈良教育大学准教授の井上邦子氏が講演に対するコメントを発表。井上氏は、数値による結果を重視するスポーツ界の現状とは異なるものとして、モンゴル相撲を取り上げ、試合に参加することや相手の立場を尊重しながら取り組む姿勢が重視されるスポーツも存在すると話しました。

第3部の総合討論では、講演者とコメンテーターによる活発な意見交換が行われ、フォーラムは盛況のうちに幕を閉じました。



建設業界で働く方々との交流会を開催

建

設分野で働く技術者と学生が交流する「イブニングサロン」が11月1日(金)、生活環境デザイン学科で開かれました。

愛知県建設局と関連建設団体(企業)が主催するこの交流会は、建設分野の魅力発信や若手人材の育成を目的に行われたもので、当日は、加藤和雄教授と伊藤彩華嘱託助手がサポートを担当し、本学卒業生を含む建設業界で働く女性7名と生活環境デザイン学科の3年生17名が参加しました。

愛知県建設局土木部建設企画課の片山愛氏の司会のもと、コンサルタント、建設会社、公務員の3テーブルに分かれてフリーディスカッションが行われ、社会人と学生が建設業界の仕事内容などについて話し合いました。



国際都市・名古屋の現状と課題を知るためにフィールドワークを実施

11

月3日(日)、国際コミュニケーション学部の専門教育科目「国際比較文化研究IB」(担当:影山穂波教授)で、名古屋のまちを歩き、地理的条件、都市計画、産業の動向を理解しながら地域の人に話を聞くことで、国際都市・名古屋を把握し、今後の発展を考えるためのフィールドワークを行いました。

この日、参加したのは3年生14名。熱田神宮周辺の施設や地形的な調査をはじめ、城下町を支えた堀川の役割、江戸時代から駄菓子づくりで栄えた明道町(西区)など、各地の見どころを歴史的な観点から再発見。調査では、地域活性を担うNPO法人へ聞き取り調査をするなど、学外にある資料や情報を入手する力を高める狙いもあります。

学生らは、フィールドワークで得た名古屋の抱える現状と課題をもとに、地域の活性化について検討しています。



認知症サポーター養成講座を実施

10

月17日(木)、人間関係学部で日進市中部地域包括支援センターから講師をお招きして、「認知症サポーター養成講座」を行いました。

本学は2018年10月、愛知県から「あいち認知症パートナー大学」として認定され、認知症への理解に率先して取り組んでいます。今回の講座もその一環として開催され、52名の学生が認知症の方やその家族を温かく見守る認知症サポーターを目指しました。

養成講座では、はじめに映像を用いて認知症の行動例が紹介され、正しい対応と間違った対応の比較が示されました。続く講義では、記憶障害をはじめとする認知症の症状について説明。家族や周りの人が、症状への理解と正しい対応が必要であることを学びました。

その後のロールプレイでは、学生がペアとなり認知症役とサポーター役の実技を実施。さらに講師が認知症役となり、学生が話しかける訓練を行うなど、本番さながらの状況を再現しました。



現代マネジメント学部

名古屋市副市長の伊東恵美子氏を講師に招き特別講義を実施

11 月6日(水)、現代マネジメント学部の専門教育科目「労働経済学B」(担当:黒田達朗教授)で、名古屋市初の女性副市長である伊東恵美子氏をゲストスピーカーにお招きし、「女性の活躍推進について~名古屋市の現状と取組み~」と題して特別講義を行いました。

講義では、女性の就業意識について、さまざまなデータをもとに名古屋市と全国を比較。当地区は、女性が職業を持つことに保守的な傾向にあること、20~24歳の女性人口が関東圏へ流出している点などを指摘しました。これらの課題に対し、名古屋市の取組み事例を説明。女性の活躍推進や子育て支援、ワーク・ライフ・バランスを推進する企業の認定制度のほか、保育所などの待機児童問題への対策について紹介しました。

伊東氏は、現在、名古屋市ではあらゆる職種で女性の採用が進み、昇進昇格の機会も男女平等であることを紹介。名古屋市政に携わる魅力と醍醐味について、受講した学生さんに伝えました。



教育学部

野崎ゼミと有志の学生が歌のコンサートを開催

12 月19日(木)、星が丘キャンパスに帽山女学園大学附属帽山こども園の園児を招き、歌のコンサートを開催しました。これは教育学部の野崎健太郎准教授のゼミ生が、卒業研究として取り組んでいる「アカペラを通じたリーダーシップの研究」の一環として開催。このほか音楽教諭免許の取得を目指す1~4年生の有志学生も参加した会場では、隣接する帽山こども園の年長と年中組の園児に向けて、さまざまな歌が披露されました。

はじめに、野崎ゼミ生によるアカペラコンサートでは、学生の手拍子で始まる歌とその歌唱力に驚く園児もいましたが、しばらく経つと一緒に手拍子をとる姿も。続く有志学生のコンサートでは、ピアノ伴奏によるクリスマスソングなども流れ、園児らにとって一足早いクリスマスプレゼントになったようです。



看護学部

卒業生と教員との懇談会を開催

10 月18日(金)、看護学部が卒業生を招き、「卒業生と教員との懇談会」を開催しました。この懇談会は、看護職として社会に巣立った卒業生を本学に招き、医療現場での仕事ぶりを報告するとともに卒業生たちの交流促進を図り、看護職としての就業継続支援のために開催しています。今回は4期生から6期生を中心とした卒業生36名と教員が参加し、旧交を温めました。

懇談会では、卒業生が実際の仕事現場におけるやりがいや苦労などを報告。卒業生の話を聞いた教員や同窓生らは、共感を示すとともに自分たちの体験に基づいたアドバイスや情報提供を行いました。

看護学部では、卒業後も世代を超えた同窓生同士、また教員とのつながりを大切にしていきます。



堀山女学園大学の 学生支援



堀山女学園大学には、現在6千人を超える学生が在籍しています。

学生のみなさんが有意義に学び、安心して学生生活を送れるよう、大学ではさまざまなサポートを行っています。

メンタルヘルス支援 悩みに寄り添い、健康管理をサポートする

学生相談室

学修や進路、友人や家族との関係、自分自身の性格など、さまざまな問題に関する心の相談を受け付けています。一人で思い悩むのがしんどくなった時には、どうぞ気軽に利用してください。公認心理師・臨床心理士の資格を持った経験豊かなカウンセラーが、じっくりとお話を聞きながら、どのようにしていけばいいのか一緒に考えていきます。

学生相談室に関する
情報はこちらから



医務室

心身ともに健康で安全な学生生活を過ごせるよう、自己管理のお手伝いを心掛けています。体調がすぐれない際の一時的な休養やケガなどの応急処置のほか、健康診断の結果をもとに、健康に関する情報提供やアドバイスを行っています。また、必要に応じて、学校医による健康相談の案内も行っていますので、気軽に利用してください。

医務室に関する
情報はこちらから



学修支援

学びの機会をサポートする

学修・生活指導教員

学修・生活指導教員制度とは、学生が充実した大学生活を送るために、学生ごとに担当教員を設定し、学修や進路などについて相談、アドバイスを行う制度です。学生生活や将来についてなど、気軽に学修・指導教員を訪ねて相談してください。

学修・生活指導教員の確認

「S*map」の「オプション」から「学生基本情報変更」で確認することができます。



オフィスアワー

「この時間なら先生に会える」のがオフィスアワーです。教員があらかじめ示すオフィスアワーであれば、誰でも相談ができます。

オフィスアワーの利用方法

「S*map」のキャビネットから「オフィスアワー一覧」をご覧ください。
事前に予約が必要な場合もありますので、確認の上、研究室を訪問するようにしましょう。

図書館

星が丘キャンパスに中央図書館、日進キャンパスに日進図書館があり、両館で約48万点の資料を所蔵し、学術書や一般書をはじめ、国内外の学術雑誌やデータベース、視聴覚資料を利用できます。中央図書館には「個人学修からグループ学修へ」という学びのスタイルの変化に対応したアクティブ・ラーニングのための空間「ラーニングコモンズ(レサークル)」や、日進図書館には飲食可能なテラス席などがあります。

図書館に関する
情報はこちから



図書館長
長谷川 淳基教授
(2019年4月就任)

図書館だより

「館内でお弁当が食べられる場所がある?」「友だちとグループで映画観賞ができる?」「図書館が開いていなくても借りた本を返却できる?」「読みたい本が所蔵にない場合、購入のリクエストができる?」「論文の探し方は教えてくれる?」…こんな質問があったら、本学の図書館は全てYESと答えます。ライブラリーサポーターが大学祭で古本販売もします。落語研究会がラーニングコモンズで寄席も行います。ある学生たちは絵本コーナーで人形劇の練習をしていました。長谷川図書館長は、今まであまり購入できなかった貴重書の購入も検討しています。その他、まだまだ提供できるサービスが図書館にはあります。気軽に利用できる図書館を大いに活用してください。

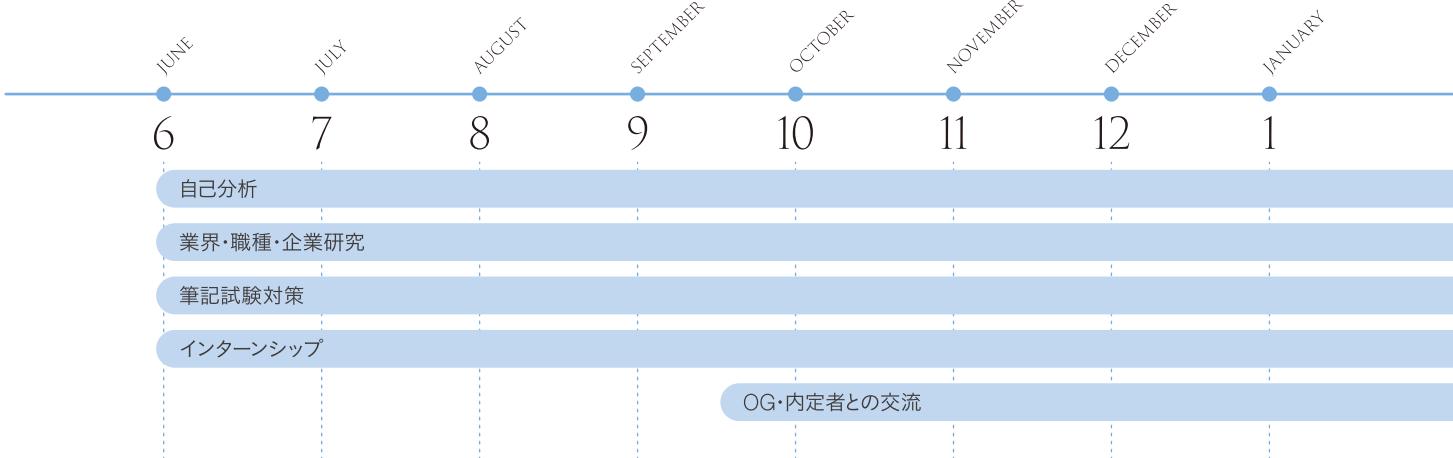


ラーニングコモンズ(レサークル)



テラス席

就職活動スケジュール例



早期化する就職活動

新4年生(21年卒)の就職活動は、政府の採用指針により、3年次の3月に広報解禁、4年次の6月に面接解禁となっており、新3年生(22年卒)についても現行の日程を維持することが決まっています。しかし、実際はルールよりも早い時期に選考が開始されるなど、就職活動の早期化が懸念されています。キャリア支援課では、学生のみなさんの不安を解消できるよう情報を発信していきます。

キャリア支援課があなたをサポート

就職活動に関する相談は、キャリア支援課へ。

キャリアカウンセラーの資格をもつ経験豊富なスタッフ陣が個人面談を行い、皆さんの就職活動をサポートします。

星が丘キャンパス(人間交流会館1階)

平日 9:00-18:00 土曜 9:00-13:00

日曜、祝日は閉館

夏期・春期休業期間中の窓口取扱時間については、別途

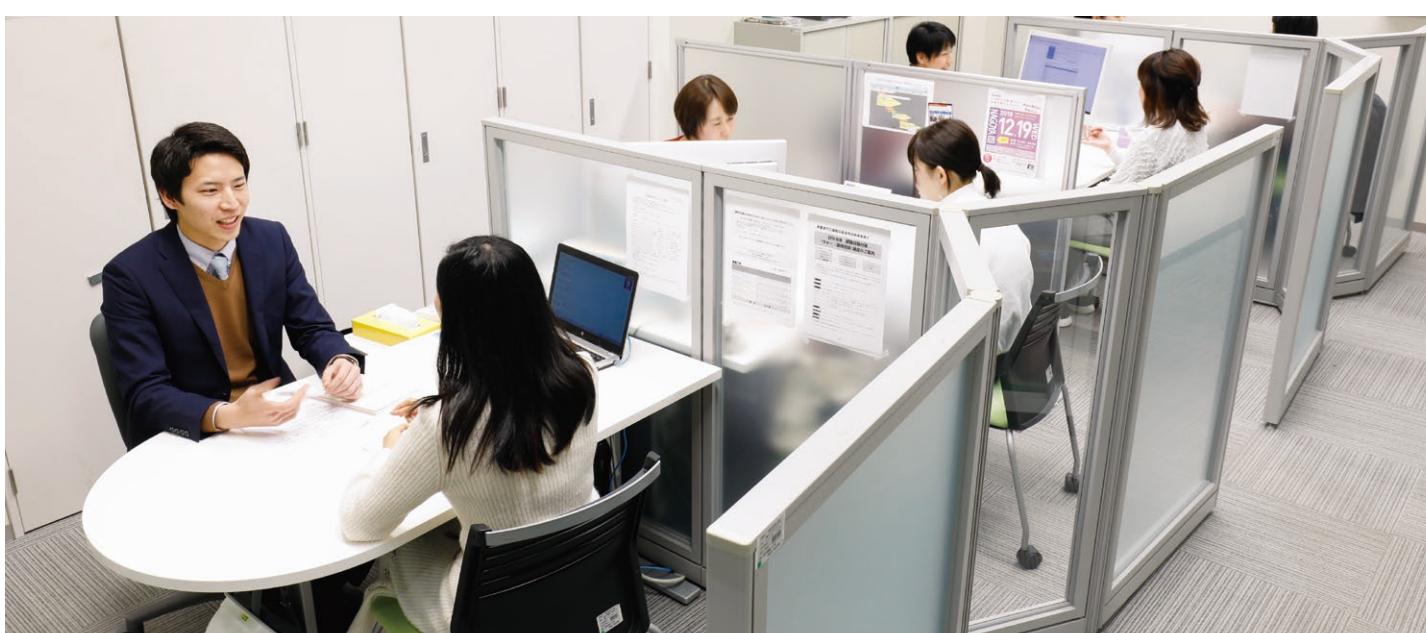
S*mapのジャーナルおよび掲示でお知らせします。

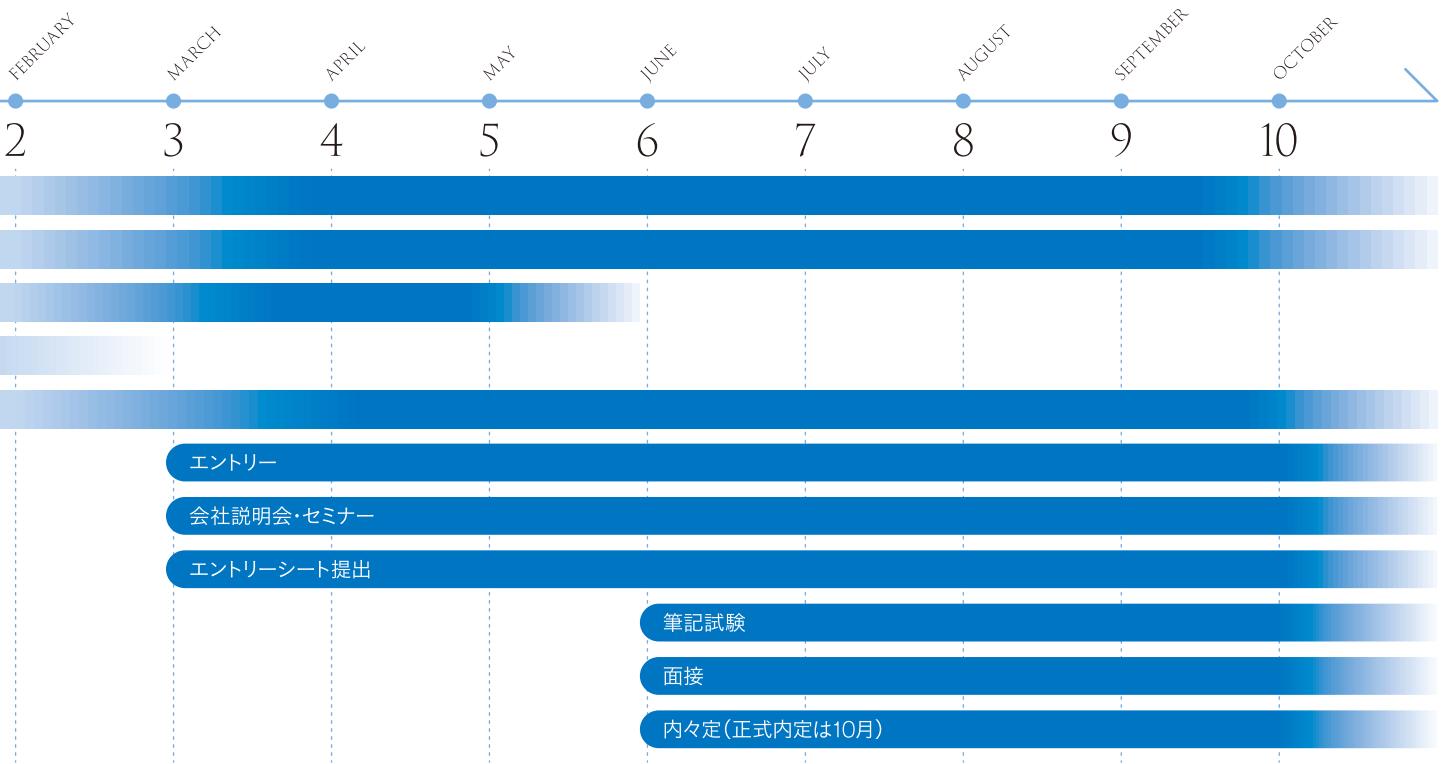
日進キャンパス(6号棟大学会館日進分館)

平日 10:00-16:30

土・日曜・祝日、夏期・春期休業期間は閉館

就職に関する
情報はこちから





内定者の声

就職活動において、私が最も力を入れたのは、「自己分析・他己分析」です。自分自身について分析し、強みや弱み、ライフプランなどを明確にすることで、就職活動の方向性が定まります。また、自己PRや志望動機にもつながり、入社後のミスマッチを防ぐことができます。「私はこういう人間です！ こういう仕事がしたいです！」と自信を持ってアピールできるようにすることが大切です。

キャリア支援課では、主にエントリーシートの添削をしていただきました。専任の担当者を決めるのではなく、何人かの職員の方に見ていただくことで、さまざまな視点から文章を改善することができました。また、マナー・面接対策講座をはじめ、学内業界セミナーや内定者報告会などにも積極的に参加し、情報収集に努めました。先輩の内定者やOGの方から直接お話を伺う機会も多く、実践的な業界研究ができたと思います。

入社後は、常識にとらわれず、積極的行動できる人になりたいです。殻に閉じこもることなく、広い視野を持って挑戦し続け、いずれは帽山と関わる仕事ができたらうれしいです。



後輩へのアドバイス

就職活動は、自分を見つめ直し、将来をじっくりと考える良い機会です。ネガティブにならず、前向きに挑戦してほしいです。また、決してひとりで行うものではありません。周りの人たちに協力してもらいながら、自分のペースで頑張ってください。皆さんの就職活動を心から応援しています！

OG INTERVIEW

管理栄養士（アスリート専門・フリーランス）

小笠原 真智さん Ogasawara Machi

必要な栄養や目指すゴールは十人十色。
それぞれの目標を達成できた瞬間が
何よりうれしい。

アスリート専門の管理栄養士として、高校生から社会人まで、国体やオリンピックを目指す個人・チームの栄養サポートをしています。スポーツの栄養指導といっても、種目や個人によって、目標や内容はさまざま。例えば同じ陸上競技でも、長距離と短距離では望ましい筋肉量や体脂肪率は違いますし、太りやすい、風邪をひきやすいなど、個人の体質によっても必要な栄養素や摂取するタイミングが変わってきます。よって、まずは競技や選手ごとに、最適な栄養プランを見極めることが重要なのですが、それを伝えるだけではなかなか結果を出せません。情報が溢れる時代、選手たちもある程度の栄養知識は持っています。でも実践できない。そこで必要なのは行動に移す動機付けです。カウンセリングではまず、今の課題や悩みから性格、生活スタイルまでじっくり話を聞きながら具体的な目標を共有します。その後は栄養管理に主体的に取り組んでもらえるよう、毎日の食事の写真を送ってもらい、こまめにアドバイスするなど、継続的に支援します。そしてフリーになって2年目の昨年、個人としてサポートしている陸上選手が日本選手権入賞、チームとしてサポートしている高校の陸上部がインターハイ入賞と、それぞれ目標を達成し、ハイタッチして喜びを分かち合いました。悩むことが多いですが、戦績やタイムなど、成果がはっきり出るのがこの仕事の醍醐味。私自身も来年に公認スポーツ栄養士の資格取得、4年後に指導するアスリートのオリンピック出場と、今後も目標に向かって全力で取り組んでいきたいです。

真面目で協力的な仲間や先生に囲まれスポーツ栄養をとことん学んだ4年間。

小学生から陸上に打ち込み、食べることはもちろん、身体をつくるという意味でも、食事や栄養にとても興味がありました。高校も食物科に進み、大学では、もっと多くのアスリートを栄養面から支えるスキルを養いたいと管理栄養学科に入学しました。1年次からスポーツ栄養の先生の研究室に通って話を聞いたり、1度履修すればいい「スポーツ栄養」の授業を、2~4年まで受講したりと、学ぶ姿勢は超前のめり（笑）。その甲斐あって、栄養の知識や献立作成・調理のスキル、カウンセリングの技法など、今の仕事に必要なことはほとんど大学で学べました。実践面では、2年次から母校の陸上部で栄養サポートのボランティアを始め、4年次のゼミでは別の高校のラグビー部、サッカー部、バスケ部の栄養管理を経験し、競技や個性に合わせたアプローチの仕方を習得。それらの経験を通して、アスリート専門の管理栄養士としてやっていく気持ちが固まりました。また大学では、真面目で付き合いのいい仲間に恵まれ、同じ分野に興味を持つ友達と「スポーツ栄養研究会」をつくったり、学科の運動会を企画して、大勢の仲間に参加してもらったりと、毎日の学びや生活を楽しくするさまざまな活動に挑戦できたのもいい思い出です。フリーランスの管理栄養士になった今、個人やチームへの栄養指導のほか、女性アスリートのための料理教室やビューティ講座など、「楽しむこと」も積極的に提案するのは、幅広い経験が影響しているのかもしれません。4年間の学びを大切に、これからも自分にしかできない仕事に挑戦し続けたいと思っています。



Profile

2015年3月 生活科学部管理栄養学科卒業
給食委託会社を経て、
2018年4月 アスリート専門の管理栄養士として独立。
個人・チームの栄養管理のほか、セミナーなども開催。

‣‣ 加藤昌彦教授が、栄養士養成功労者として、 栄養関係功労者厚生労働大臣表彰を受賞

管理栄養学科の加藤昌彦教授が、栄養士養成功労者として、「令和元年度 栄養関係功労者 厚生労働大臣表彰」を受賞しました。これは、栄養士・管理栄養士の養成のため特に顕著な功績があつた方を表彰するものです。

加藤教授は、厚生労働大臣からの委嘱を受け、2018年には、管理栄養士国家試験出題基準(ガイドライン)改定検討会の座長を務め、報告書を取りまとめたほか、2019年には、管理栄養士国家試験委員長を務めるなど、顕著な功績が認められ、今回の受賞に至りました。

加藤教授は、「今回の受賞を機に、これまで以上に管理栄養士が活躍できる機会を増やしていくよう努めていきたいです」と決意を示しました。



‣‣ 令和元年度ベストティーチャー賞は、 生活環境デザイン学科の阿部順子准教授！

令和元年度ベストティーチャー賞を、生活環境デザイン学科の阿部順子准教授が受賞しました。

この賞は、本学教員の意欲向上と大学教育の活性化を図ることを目的に毎年選定されるもので、学生アンケートによる評価など、総合的に審査、選定された教員に対し、その功績を表彰するものです。

阿部准教授は、「本学の先生方は、学生思いでそれぞれにご尽力されておりますので、今回は代表で受賞させていただいたと思っております。この賞を励みに、ますます精進いたします」と決意を新たに喜びを語りました。



‣‣ 寄付金による施設設備・教育充実事業

新入生の保護者の皆さんにご協力をお願いしております「施設設備・教育充実寄付金」は、平成30年度に310万円のご寄付を頂戴いたしました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

この寄付金(累積額を含む)を利用して、施設設備および教育の充実を図るため、令和元年度に次の事業を実施したことをご報告申し上げます。

部 門	事 業 名	支 出 額
生活科学部	臨床栄養学実習室の機器整備	1,400千円
生活科学部	EX003実習室の作業机更新	790千円
国際コミュニケーション学部	教室プロジェクター更新	1,312千円
看護学部	新生児バイタルサインベビーおよび新生児用ベッドの購入	1,005千円

なお、上記以外の学部については、令和2年度以降での事業を予定しています。

今後とも、ご支援ならびにご協力をお願い申し上げます。

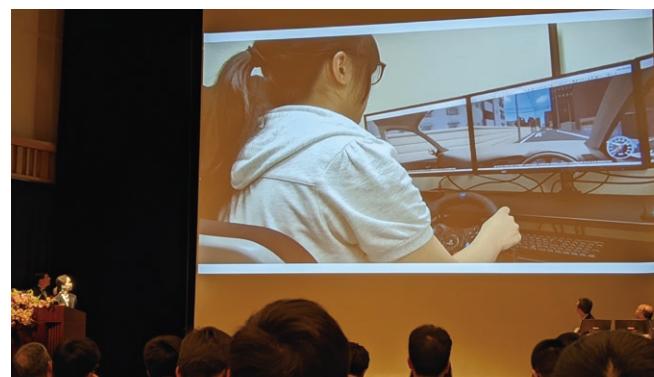
学長 後藤 宗理

♦♦ 文化情報学科 向ゼミの学生が世界一!! プログラミング技術を競うコンテストで最優秀賞を獲得

文化情報学科 向直人准教授ゼミの学生チームが、「学生クラウドプログラミングワールドカップ」に作品を応募し、最優秀のワールドカップ賞を獲得しました。

開発キットを用いたクラウドアプリのプログラミング技術を競うこの大会には、世界各国から21作品の応募があり、そのうち7作品がノミネート。最終審査会と表彰式が、11月14日(木)に品川インターナショナルホール(東京都港区)で開催されました。

チームM's Labとして参加した文化情報学科4年生の岩田芹奈さん、後藤久乃さん、浜中志奈子さんは、交通事故を減らすことを目的とした作品「Emotional Voice Support」を発表。ドライバーの視線追跡情報を使用して「周りを見ましょう」などの適切なアナウンスを生成するだけでなく、怒りや喜び、悲しみなどの感情パターンを音声で表現できるソフトウェアを開発しました。学生たちは、2分間のプレゼンテーションを英語で行い、見事に最優秀賞を受賞。本学文化情報学科が理系の分野にも強いことが証明された結果となりました。



♦♦ 料理研究家 土井善晴氏をお招きし、活字文化公開講座を開催

本学と活字文化推進会議が主催する「活字文化公開講座」が、12月12日(木)に開催され、在学生および一般参加者およそ300名が参加しました。

本学で8回目の開催となる今回は、料理研究家の土井善晴氏をお迎えし「一汁一菜、和の心と言葉」と題した講演とトークセッションを行い、本学文化情報学部の福永智子教授がコーディネーターを務めました。

土井氏は大学卒業後、スイス、フランスでフランス料理を、大阪の老舗料理店で日本料理を学んだ後、料理学校講師を経て独立。「おいしいもの研究所」を設立し、食の場のプロデューサーとして地域色の洗練化や家庭料理の本質を伝える活動に取り組んでいます。

講演では、家庭料理を一生の仕事にするまでの思いを語り、その過程で出会った書籍や著名人の言葉と料理のつながりについて披露。良い言葉、人のためになる言葉との出会いが、読書の醍醐味であると指摘。その後、福永教授との対談では、料理の意義について意見交換。土井氏は、料理をする中に感動や面白さが秘められていることが、和食の魅力であると紹介しました。



Events

3 March

- (2月～) 春期インターンシップ実施(3月20日まで)
3日(火) オープンカレッジ前期講座受付開始
15日(日) 卒業証書学位記授与式
16日(月) 春季休業(31日まで)
25日(水) 在学生ガイダンス・健康診断(新4年生)
26日(木) 在学生ガイダンス・健康診断(新3年生)
27日(金) 在学生ガイダンス・健康診断(新2年生)

5 May

- 4日(月・祝) 通常授業日

6 June

- 1日(月) 学園創立記念日
13日(土) 秘書技能検定(学内実施)
27日(土) マナー・プロトコール検定(学内実施)

4 April

- 1日(水) 新入生オリエンテーション(生活、国コミ、文情、看護のみ)
2日(木) 新入生オリエンテーション(全学部)
3日(金) 入学式
4日(土) 新入生オリエンテーション(全学部)
6日(月) 前期授業開始
29日(水・祝) 通常授業日

7 July

- 7日(火) オープンカレッジ後期講座受付開始
11日(土) TOEIC® Listening & Reading
IPテスト(学内実施)
12日(日) オープンキャンパス
25日(土) 前期試験開始

古本募金ご協力のお願い

平成26年10月から開始された裾山女学園大学古本募金は、本学の卒業生、在学生、教職員などの大学関係者から提供された書籍等の古本としての買取金額が本学への寄付となり、全額を本学学生の奨学資金に役立てる学生支援プロジェクトです。

皆さまのご協力により、平成26年10月1日から令和2年1月10日までに、1,112,197円(今年度は163,525円)が集まりました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。集まった寄付金は、本学学生の奨学金として活用させていただきます。

今後ともご協力をお願い申し上げます。



編集後記

今号の特集”学生控室を活用しよう”はいかがでしたか。学生の意見を取り入れた女子大ならではのアメニティの充実、カラーコーディネートは、学習環境やキャンパスライフをより快適にするものと思います。星が丘キャンパス・日進キャンパス、他学部の学生控室巡りをしてみてはどうでしょうか。

さて、今年はオリンピック、パラリンピックイヤーです。世界中から集結する選手たちの雄姿に、この夏はアツく盛り上がることでしょう。本学の体育系クラブの皆さん、大会の戦績を期待しています。そして「文武両道」とも言います。文化系クラブの素晴らしい発表も併せて期待しています。(S.M)

裾山女学園大学報「風」第52号(2003-1-11700)

発行日 2020(令和2)年3月1日

発行 梶山女学園大学 大学報「風」編集委員会

編集 梶山女学園企画広報部広報課

編集委員 前田 節子／富田 和子／堀田 あけみ／浅野 元志／木田 勇輔／仲尾 育哉／石橋 尚子／長谷川 淳基／原田 明人

編集協力 新聞報道部

題字 鄭麗芸(文化情報学部教授)

